学校番号	T0204

令和３年度　地歴公民科

教科	地理歴史	科目	地理Ａ	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	基本地理Ａ　（二宮書店）						
副教材等	標準高等地図―地図でよむ現代社会―（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代の世界は、国境を越えて人々の交流が活発化している。交流を深化、発展させるには、異なる地域で生きる人々の生活・文化に対して、考察を深めることが大切である。
・地理的事象の考察に当たっては地図が最重要であるため、地図を読めるようにする。
・現在の世界で起こっているさまざまな問題（地震・河川氾濫などの自然災害、民族紛争、エネルギー問題など）を生徒自身の問題として考えられるよう新聞記事などをつかう。

２　学習の到達目標

・地図や統計、画像など地域に関する諸資料を通して、現代世界の地理的な諸課題についての関心と課題意識を高め、基本的な事柄や追求の方法を理解する。
・地理的事象と地域性や歴史的背景、日常生活との関連に対する考察を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての責任を果たそうとする。	現代世界の地理的事象から課題を見いだし、それを地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえて公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追求の方法を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	・定期考査 ・授業態度 ・出席状況	・定期考査	・定期考査	・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	地図を通して考察する現代社会の特色	1、地域間の結びつき 2、地形・気候・経済と文化 3、世界各地の生活・文化	○ ○ ○	 ○	○ ○ 	○ ○ ○	a:地図・地域間の結びつき等について関心を高め、意欲的に追求しようとしている。 b: 世界各地の生活・文化について、自然や文化・社会の多様性を公正に判断し、多面的・多角的に考察し、適切な方法で表現している。 c: 地理に関連する事象について広く新聞記事等から様々な資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して、効果的に活用している。 d: 地理に関連する基本的事項や問題点を知り、多様な文化の理解を深め、その知識を身に付けている。	・定期考査 ・授業態度 ・出席状況
後期	地球的規模の課題と生活圏の課題	4、環境問題 5、資源問題 6、人口・食糧問題 7、移住・都市問題 8、地形図の読み方 9、自然環境と防災 10、生活圏の諸課題	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○	a: 地球的規模の課題について関心を高め、意欲的に追求しようとしている。 b: 生活圏の課題について、自然や文化・社会の多様性を公正に判断し、多面的・多角的に考察し、適切な方法で表現している。 c: 地理に関連する事象について、広く新聞記事等から様々な資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して、効果的に活用している。 d: 地理に関連する基本的事項や問題点を知り、多様な文化の理解を深め、自己の人間観・社会観に関わる知識を身に付けている。	・定期考査 ・授業態度 ・出席状況

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について

〇を付けている。